

先輩から⑤「学校行事への参加」

たくさんの学校行事。通常の児童生徒と一緒に参加するには、支援や配慮が必要です。ここでは、学校行事に参加する際の考え方や具体的な支援の方法についてご紹介します。



運動会：子供と保護者の希望を聞いて！

肢体不自由，病弱虚弱の児童生徒を担当して，初めての運動会。車椅子は校庭を走るのには適していませんし，大勢の人の前で走ることに抵抗感もあるのではないかと思います。悩みました。私が子供に提示した参加の方法は4つでした。①最後になっていいから自力で参加。②教師が車椅子を押して一緒に参加。③距離を縮めてラスト50mから参加。

④徒競走は参加せずゴールテープ係で参加。本人の希望は③でした。本人の希望を保護者に伝え，ご家庭で話し合ってもらったところ，本人が希望した参加の仕方になりました。本人，保護者の希望を聞き一緒に進んでいくことが大切だなと思いました。また，学年によっても，本人の希望は変わっていきます。それを受け入れつつ，前向きに参加できるよう支援していくと良いと思います。

避難訓練：職員全員に肢体不自由の児童生徒の避難について考えてもらいましょう！

防災教育は，学校教育の中で重要な位置付けになっていますが，障害のある子への支援は見落とされがちです。複数在籍の場合，担任一人で避難させるのは，現実的ではありません。車椅子や歩行に時間がかかる児童生徒を誰がどのような方法で避難させるのか，避難計画を作成し学校運営計画の中に明記しておきましょう。私は，夏休み中に保護者に実際の避難方法を見てもらいました。また，担任が不在の時に災害が起こった場合も想定し，学年の先生方や管理職にも避難の介助を体験してもらい，職員全員で対応する体制を作ることができました。



**修学旅行：子供の一生の思い出づくりを！
交流学級の子供たちと絆を深めるチャンス！**



私が担任した児童の移動手段は車椅子でした。他の校外学習も同じですが，下見では，段差やトイレの仕様を確認，さらにそれらの写真を児童に見せて見通しがもてるようにしました。

問題は，自主研修でした。大人の手を借りず，子供たちで協力して活動できたら，本人も交流学級の子供たちも自信を持ち，絆が深まるだろうと思いました。

そこで，本人と相談し，自主研修のグループの子供たちに車椅子の押し方，段差の上げ方などを本人から説明して，一緒に活動するために協力してほしいという思いを伝えることにしました。グループの子供たちは，自分たちは特別な体験をするんだという気持ちになったのか大喜び。最終的には，グループの子供たちが発案し，学級全体に「〇〇ちゃんの手伝い方」をデモンストレーションして，みんなで協力して楽しい修学旅行にしようと言ってくれました。行事を通し，子供たちの心の距離はぐっと縮まり，その後の学校生活もより楽しいものとなりました。いずれにせよ，学校や保護者とよく話し合い，事前の安全確認と指導を行うことが不可欠です。

学校行事：主体的な参加の方法を工夫して！

1 学期	始業式・入学式 1年生を迎える会 運動会 修学旅行（6年） 〇〇祭り（児童会） 終業式
2 学期	野外活動 校外学習 避難訓練 学習発表会
3 学期	6年生を送る会 卒業式・修了式